

団体名	三次市	所属	育児支援課	他団体等との連携	地域住民
連絡先	育児支援係 (0824)62-6148				

取組事例名	三次市子育てサポート事業	取組期間	平成16年度～
--------------	--------------	-------------	---------

取組の概要 ～ 市民の間での子育てサポート事業	
<p>核家族化や共働き世帯の増加に伴い、一時的に子どもを預ける場所の確保が求められていることから、子育ての援助をしたい人「まかせて会員」が、子育ての応援をしてほしい人「おねがい会員」の子どもを、自宅で預かる相互支援活動を実施している。事務局である市のアドバイザー（市職員）が仲介する会員登録制で、三次市子育てサポート事業実施要綱に基づいて取り組んでいる。</p>	
取組の背景 ～ 保育施設以外に一時的に子ども預かる場所の確保が必要となっている	
<p>核家族化や共働き世帯の増加、地域連帯の希薄化などにより、育児への負担感や不安感の解消が急務になっている。また、保護者の多様な就労時間や勤務形態に柔軟に対応するため、保育施設における保育時間以外に一時的に子どもを預かる場の確保策として、地域で子育てを支え合う相互支援活動事業を立ち上げた。</p>	
取組のねらい ～ 子育て中の保護者の負担軽減と地域ぐるみで子育てを支え合う	
<p>安心して子どもを産み育てることができる環境づくりが急務である中、多様な子育てのニーズに応え、保護者の負担軽減や利便性の向上へとつなげていく。地域全体で子育てを支え合う市民の意識や機運が高まっており、子育てにやさしい地域づくり「子育て応援団」としての役割をめざす。</p>	
取組の具体的内容 ～ まかせて会員がおねがい会員の子供を一時預かる	
<p>育児の援助を行う提供会員（まかせて会員）と、援助を受ける依頼会員（おねがい会員）がそれぞれ登録し、育児に関する相互支援活動を行う。市は「三次市子育てサポート会事務局」として活動の仲介と利用料の半額助成及び、会員組織の育成等を行う。</p> <p>「あったかハートで応援します」をキャッチフレーズとし、市が事務局を担っていることにより、安心と信頼の相互支援活動ができる。保護者のリフレッシュや、緊急時に一時的に子どもを預かる場を確保することで、子育てに対する協力者のいない家庭を支援し、地域と家庭の連帯感が生まれることで、地域ぐるみでの子育てを行うことにつなげていく。</p>	
<p>(1) 主な事業内容 事業の普及啓発活動、相互支援活動の質の向上を図る研修会、会員間の信頼関係を深める交流会、「まかせて会員」登録のための講習会の開催</p>	
<p>(2) 利用時間 7時～21時が基本、早朝帯・深夜帯・宿泊あり</p>	
<p>(3) 利用料金 1時間600円（市が半額助成、保護者の実質負担額は300円）が基本、時間帯に応じて利用料金が異なる。</p>	
<p>(4) 事業対象</p>	
<p>ア まかせて会員 講習を受けた20歳以上の三次市在住で、自宅で預かることのできる人</p>	
<p>イ おねがい会員 三次市在住で、0歳～小学校6年生の保護者</p>	
<p>(5) 活動内容 保育施設までの送迎、保育施設の保育開始時までの預かり、保育終了後の預かり、放課後児童クラブ終了後の預かり、小学校の放課後の預かり、土日祝日及び小学校の長期休業中の預かり、買い物・通院などの外出時の預かり、その他一時的な預かり。</p>	



取組を進めていく中での課題・問題点 ～ 会員が市街地に集中，利用時間や対象年齢の拡大の要望

「まかせて会員」が少ない上に、「まかせて会員」「おねがい会員」とも市街地に集中している。周辺地域の「まかせて会員」を増やすことが、安定した利用者ニーズに応えることに繋がる。

事業開始当初は、利用時間は7～21時，対象児童は小学校3年生までとされていたが、時間延長や学年拡大の要望があった。

創意工夫した点 ～ 講習会の実施，利用時間や対象年齢の変更

毎年3回、「まかせて会員」講習会を開催し、市内から広く募集することで、会員の拡大をはかっている。「まかせて会員」は、自宅で子どもを預かることができる20歳以上の方で、子どもの好きな社会参加をしてみたい方を募っている。また、講習会終了時に、会員登録希望の方へ会員証を交付している。

事業内容については、利用者のニーズに応え、平成22年4月1日より、利用時間を24時間対応に、対象年齢を小学校6年生までに拡大した。

取組の成果（効果）～ 地域の子育て力の向上や児童の健全育成

相互支援活動の質の向上と会員間の信頼関係を深めるため、講習会及び交流会を開催し、会員総数は平成23年度の1,049人（「まかせて会員」145人、「おねがい会員」828人、「両方会員」76人）から、平成24年度は1,110人（「まかせて会員」154人、「おねがい会員」866人、「両方会員」90人）に増加している。

また、活動件数及び活動時間についても、平成23年度1,425件・7,459時間から、平成24年度2,070件・9,368時間に急増している。

多様な子育て支援のニーズに応え、子育て中の保護者の負担軽減や利便性の向上につながっている。

今後の展開 ～ 制度の周知

子育てサポート事業を必要とする家庭の一層の利用促進に向け、この事業内容が子育て家庭に定着するよう制度の周知を行っていく。

他団体へのアドバイス ～ 講習会の実施，周知の方法

核家族やひとり親家庭の増加に伴い、子育て環境も年々変化しサポート事業へのニーズは高まっている。子どもを預けたくても預ける場所のない保護者のニーズに対応するための制度の一つとして、一定の成果があると考えている。

また、今はこの事業が必要ない方が、近い将来この事業を利用したいときに、どうタイミングよく周知できるかが大切である。市の保健師や、各支所の窓口職員はもとより、民生委員会や住民自治組織等、他の団体にも制度を理解してもらうことにより、より幅広く事業を周知していくことができる。